

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年10月8日(2009.10.8)

【公表番号】特表2005-520018(P2005-520018A)

【公表日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-026

【出願番号】特願2003-574761(P2003-574761)

【国際特許分類】

C 10 L 1/22 (2006.01)

C 10 L 1/06 (2006.01)

C 10 L 10/04 (2006.01)

【F I】

C 10 L 1/22 B

C 10 L 1/06

C 10 L 10/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年8月18日(2009.8.18)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0025

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0025】

RON 96.2、MON 85.1で、硫黄含有量(DIN EN ISO 14596)0.01%w/w、芳香族含有量(DIN 51413/T3)37.3%v/v、密度(DIN 51757/V4)750.4kg/m<sup>3</sup>、10%v/v蒸留温度45.9、50%v/v蒸留温度101.7、90%v/v蒸留温度160.7、最終蒸留温度194.7の無鉛ガソリンをベース燃料として用いて従来法に従って燃料サンプルを製造した。

4種の異なる燃料サンプルを用いた。燃料Aは、ベース燃料自体である。

燃料Bは、ベース燃料中に市販の添加物包装品(BASF A.G.)645ppmw配合することにより製造した。

包装品は、ポリイソブチレン(PIB)鎖が数平均分子量(Mn)約1000のポリイソブチレンモノアミン(PLBA)、ポリエーテル担持流体及び酸化防止剤を含むものである。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0026

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0026】

燃料Cは、ベース燃料中にドデシルアミン(ラウリルアミン)を50ppmw配合することにより製造した。

燃料Dは、更にドデシルアミンを50ppmw含有させた他は、燃料Bと同じである。

燃料A、B、C、Dを直接燃料噴射スパーク点火(DISI)エンジン(ガソリン直接噴射(GDI)エンジンとしても知られている)及び従来の多点燃料噴射(MPFI)(ポート燃料噴射)としても知られているスパーク点火エンジンで次のようにテストした。